

オンラインプログラム



いま世界では、持続可能な開発目標(SDGs)として 17 の目標を掲げて、さまざまな取り組みがおこなわれています。その目標の一つに男女平等(ジェンダー平等)が掲げられています。

オンラインプログラム「わたしとみんな」は、小学校 1 年生から大人までを対象とした誰もが「ジェンダー」について学ぶ機会となるよう構成しています。

どんなに良い種をまいても、土が耕されていなければ良い芽は出ません。私たち大人ができることは、子どもたちの心の土を耕すことかもしれません。

POINT

1 このプログラムで目指していること

誰もが性別にとらわれることなく、自分の可能性に気づき、「自分らしく生きられる」ようにすることです。

POINT

2 オンラインプログラムだからできること

- コロナ禍の影響で、対面で学ぶ機会が制限されることもありますが、オンラインで学ぶ機会を提供できます。
- ジェンダーに関する理解に不安がある場合も、子どもと大人と一緒に考え、学ぶ機会をつくることができます。

POINT

3 大人が気を付けること

無意識の固定観念は誰にもあります。

子どもと一緒に取り組むときに、自分の価値観を伝えるのではなく、一緒に話し合い考える機会としてください。

気付き 無意識の固定観念について

こちらの YouTube 動画をご覧ください。

<https://bit.ly/3iVgyaQ> (セリフは英語) 

「Inspiring The Future - Redraw The Balance」

この動画では、子どもたちが小さな頃から「固定的な性別役割分担意識」を持っていることがお分かりいただけます。子どもたちが日ごろ目にするもの、例えば、メディアでの描かれ方、実際に目にする景色の結果だと考えられています。私たち大人の中にもこのようなことはないでしょうか？ 私たち自身の無意識の固定観念に気づき、修正の必要があります。

お願い

- 教材は、子どもたちが疑問をもって考える機会とし、疑問を解決できるよう作成しています。疑問に思ったことを質問されることがありましたら、子どもたちと一緒に考え、話し合いながら取り組んでください。
- 動画やワークシートの漢字にはルビをふるようにしていますが、一部対応できていないものもありますのでご支援をお願いします。
- 動画によっては声の速度が早いものがあります。YouTube の機能で調整し、聞きやすい速度にしてご利用ください。

● 持続可能な開発目標(SDGs)とは

2015年9月に国連で採択された、2016年～2030年までの国際目標のことです。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むため、先進国を含む国際社会全体の目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標を掲げています。ゴール5ではジェンダー平等の達成が掲げられており、すべての目標とターゲットにおける進展において死活的に重要な貢献をするものとされています。

● ジェンダーとは

「社会的・文化的に形成された性別」のことです。人間には生まれつきの生物学的性別があります。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」といいます。ジェンダーという言葉自体に良い悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われています。

## プログラムは、6ステップで構成しています。

プログラムに取り組むときは、ウェブページ（右のQRコード）とワークシートを使用します。  
ワークシートは、ウェブページからダウンロードすることができます。



### ステップ

# 01

じぶん す  
自分の好きなコト

#### プログラムの導入

自分の好きな遊びやスポーツ、習いごとは何だろうと考え、話し合ってみることから、人が無意識のうちに「固定的な性別役割分担意識」を持っていることに気付きます。

### ステップ

# 02

おんな こ  
女の子だから？  
おとこ こ  
男の子だから？

長年にわたり人々の中に形成された「固定的な性別役割分担意識」や、性差に関する偏見や差別、暴力などに気付くきっかけをつくります。

### ステップ

# 03

みらい じぶん  
未来の自分

性別にとらわれず、自分のなりたい姿を描きます。  
大人の固定観念で、「女の子だから、この職業は適さない」「男の子っぽい」「男の子だから、こんな職業につくべき」などと、子どもの未来を狭めてしまわないことが大切です。

### ステップ

# 04

じぶん  
自分の  
「カラダ」の守りかた

自分の「カラダ」はとても大切だということを学びます。  
イヤだな、こわいなと感じたときは、相談できる場所があることを知ります。相談できる場所を知っていたら、子ども自身で助けを求めることができるかもしれません。些細なことでも相談して良いことを学びます。

### ステップ

# 05

じぶん きも  
自分の気持ちは  
つた  
伝えていい！

うれしい、たのしい、悲しい、こわいなどの自分の感情を何らかの方法で表現し、人に伝えていいことや感情をコントロールすることについて学びます。

### ステップ

# 06

こま  
困っている  
ともだち  
友達がいたらどうする？

このプログラムで学んだことをふりかえります。  
特に「自分や友だちが困っているときにどうしたら良いか」を自分自身で考える時間をもちます。

公益社団法人ガールスカウト日本連盟とは

世界152の国と地域で約1,000万人が活動している少女と女性のための社会教育団体です。彼女たちを取り巻く環境や問題に向き合い、少女と女性が自らの可能性を最大限に発揮できるようになることを目指しています。

力をつけた少女たちが地域のコミュニティ、そして世界中で活躍できるよう、SDGsの学習機会をはじめ、リーダーシップを養う教育プログラムを提供しています。また、ジェンダーに関する問題の解決に向けては、少女と女性だけでなく少年や男性と共に学び、取り組むことが重要と考え、その機会を提供しています。

協力  
NPO法人ビルコン  
公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

参考  
内閣府男女共同参画局  
文部科学省

発行元  
公益社団法人ガールスカウト日本連盟  
<https://www.girlscout.or.jp/>  
[stv@girlscout.or.jp](mailto:stv@girlscout.or.jp)



2021年9月